

電子世界に羽を広げて

のらりとくらし

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

ソードアンドマジックインエレクトリックワールド

略してソドマジワールド

ゲームだったはずのソドマジワールドが現実になった。

人気のゲームで、しかもその日は運営からも知らされてない、口コミで知ったイベントがある日だった。

それを待ち望んでいた老若男女の人々が閉じ込められた。

目次

バーチャルからリアルへ	1
バーチャルとリアルの間だからバーリアルなんてどうかな	7

バーチャルからリアルへ

(6月28日(土))

ゲームの世界に入り込む。ファンタジー小説でよくあることだとワタクシは思う。

でもそれが実際に起こるなんて・・・ワタクシもそんなこと想像しなかったよ。

まあもしそうならたっという空想ならしたけど。

だけどいざそうなると結構大変なんだあって思う。

ワタクシはこのゲームではかなりの古参だけれど、ゲームの時は背景だったものが今はちゃんと存在してるし、その影響かNPC(ノンプレイヤーキャラクター)も増えてる気がするよ。

けど、そんな事態にわくわくしてるっていうのが正直な気持ちかな。

こんなこと滅多にありえないもん。さっきから好奇心がうずいていてもたつてもいられないよ。

とりあえず、日記を書こうかなあって書いてるんだけどどうかな。

紙も鉛筆も売ってあるし、ちよつとサンドイッチも食べてるけどちゃんと味はするし。

日記なんか書いたことなかったのにね。

とか言ってるけれどもワタクシだってわくわくしてるだけじゃダメなのはわかってる。

これでもワタクシギルドのマスターなのよ？征夷大將軍なのよ？

ちゃんとひっぱっていかなきや。歴史の大英雄たちだってちゃんとしたじゃない。

ワタクシにもできるはずだよ。

ラッキーなことに、このゲームの機能にチャット機能ってあるじゃない。

ギルドチャットして収集しようかな。やっぱりみんなで行動したほうがいいし。

それだったら急いだほうがよさそう。ここまでにしよう。書くこ

ともないし。

現実的なゲームの世界にわくわくする如月シヨウでした。

なんか見覚えのある風景が目の前に広がっている。

思い出してみれば、これはパソコンの前でずっと見ていた風景だ。だけど、これはどう見てもリアルである。バーチャルだった世界がリアルに変換している。

なにがあったか整理してみようと思った矢先、空白だったギルドチャットに発言があった。

如月シヨウ：「ギルドアジト集合な。遅れたら罰則として水入ったバケツ×2を持って廊下に立たせるから」

いつもとかわらないギルドマスターだった。

なぜか今回はありがたく思えた。

ふふっと笑ってしまう。余裕が生まれた。

よしっと気合を入れて、ギルドアジトまで駆け出した。

私たちのギルド・・・『如月の幕府』はギルドマスターが歴史ヲタクであるために、歴史的な装飾がおりてあり、そしてこのゲームのサーバー内ではじめて御恩と奉公の関係を設立した有名なギルドである。

そして有名な理由はもう一つ、このギルドマスター、如月シヨウ自身であった。

如月シヨウは・・・有名な実況者であった。

もはや動画サイトなんて飛び出して、テレビ出演やラジオのMCなども務めたことがあり、特徴的な言葉遣いと低身長＋童顔という型破りな実況者であった。

まあ容姿のほうは問題ではないが、言葉遣いが型破りという感じで・・・

第一人称が「ワタクシ」第二人称が「くっつさま」というめずらしい呼び方をするのであった。

そして性格もおもしろい性格で、たとえば私が「今花の形のにんじん食べてる」といったとき、彼は「鼻の形のにんじん!？」と間髪いれず答える・・・というスピーディなボケだった。それはこんな時でもぶれないあたり、洗練されているのかもしれない。

如月の幕府 アジト内にて

「皆集まったか？ 居ない奴手え挙げろ！」

「居ない人は手を挙げないと思いますよ」

如月の幕府 アジト内には体育館のようなものがあって、舞台とマイクが付いている。

その舞台の上にいるのはギルドマスター如月シヨウとサブギルドマスターの真桜02であった。

真桜02は一見普通そうだが実は最強メイド型アンドロイドと名乗っており、それを如月シヨウが「長いから最強メイドロイドでよくね？」と言ったことからメイドロイドで定着している、いわゆる厨二病とかいうやつだった。

しかし、メイドロイドを名乗ってるだけあつてきつちりメイド服を着こなしている。

実を言うと、このゲームにはボイスチャット機能がないため、声を聴くのは初めてだったが、真桜02は声も性格と同じくきつちりとした声・・・というか落ち着いている声だった。

ちなみに如月シヨウは声を聴いたことある(実況動画を見た)けど、こっちは逆で少年声である。

だが、この二人が相当な実力派であることは皆知っている。

如月シヨウ。レベル100。職業、武士。

武士にしてはめずらしく、スピード重視の戦い方をする。

ペットとして武道丸という馬を飼っており、それに乗って戦場を駆け巡りながら戦う。

彼の立ち上げたギルド、如月の幕府はキャッスルコールの時に集まりボスを討伐した時に、如月本人からたくさんダメージを稼いだ人に装備や道具などをあげる・・・ということをする。つまり中身が鎌倉幕府なのである。ちなみに装備や道具はボス討伐の記念品だったり運営からのプレゼントとしてもらった課金ガチャチケットだったりする。

如月シヨウ本人も如月の幕府も、どちらもサーバー内で1, 2を争うトップであり、しかしそういう風を感じさせない気楽さと祭りのよ

うな騒々しさが人気を呼んで、超有名人（超有名ギルド）として名を広めた。

真桜02。レベル100。職業、黒魔導師。

闇属性攻撃魔法を得意とするメイドロイドさん。

特に闇＋雷の合わせ魔法が得意で、それをさらに強くするため衣装は闇か雷の上昇効果と魔力上昇効果が付いている。

如月の幕府のいわゆる執権の位置であり、実質的リーダーである。

ギルドマスターとは初めて早々に合って彼のおもしろい性格が気に入りに入りついてきたらしい。

彼女も相当な実力派で10位以内にはランクインする。

如月シヨウとは反対の落ち着いた雰囲気とミステリアスな感じに魅せられる人が多い。

それに比べて私ときたら・・・とついつい思ってしまう。

もはや私とギルドマスターたちは別の世界の人間なのかもしれない。

「・・・よつし全員いるな！んじやあ新しく役職わけしておこうか」

役職わけ。学校で言うところと委員会の位置にある私たちのギルド特有の事柄だった。

「もうバーチャルからリアルになったんだ。現実世界での事も入れないと別のタブ開いて確認なんてできないんだしさ」

「その通りです。天文学が出来ない人に星を見させてどっちの方角かなんて聞いてもわからないんですから」

まあその通りなだけ・・・。

「えーつとまずは・・・ワタクシが將軍の戦闘部隊！なりたい奴手え挙げて！」

前も言ったが、如月シヨウは人気実況者である。もはや現実と同じになった世界で人気実況者と一緒になれる機会を逃したくない！と手を挙げる人が・・・全員手を挙げてるじゃないか。私以外手を挙げてるじゃないか！

「・・・30人ぐらいでいいから・・・よーしじゃんけん大会だ!!」

そして如月の幕府、ギルドアジト内にある体育館みたいところは

じやんけん大会会場となった。

ソードアンドマジックインエレクトリックワールド

ファンの間ではソドマジックワールドと略されているかなりの人気 MMOゲームである。

一人で楽しむソロプレイヤーもいるが、このゲームには大勢で楽しむ要素がたくさんある。

まずはギルド。ギルドを立ち上げるとギルドマスターになり、ギルドに加入するとギルドメンバーとなって、戦闘を手伝ったり、ある場所への行き方を教えたりすることができる。

特に人気なのはキャツスルコールという機能だった。

キャツスルコールは1か月に1回の頻度であって、その内容は、キャツスルコールのクエストを受諾して、その対象のボスをギルドメンバーで討伐し、討伐できたらそのギルドの経験値と資金が増えて、ギルドマスターには討伐記念品が贈られる。如月はこれを分け与えている。

そして如月の幕府はキャツスルコール目的でつくられたため、かなりの経験値と資産がたまっている。

ギルドは、プレイヤーと同じで経験値があり、経験値が貯まるほどギルドアジトが大きくなっていくという仕組みになっており、ギルド資産は、ギルドを飾る家具や装飾品だけでなく、特別な装備や道具を買うことができる。

めずらしくこのゲームにはサークルというのがある。

ギルドとは違って、趣味を共有する場所であり、オフ会を開く人が多い。

サークルにも経験値があって、レベルが上がるごとに人数が増えていくようになっていく。サークルでの経験値は発言数が増えていく。ほかにも上級職というのがある。

説明すると

初心者剣士 ← 初心者魔法使い ← 初心者回復術使い

← 剣士

← 魔法使い

← 回復術使い

← ← ← ← ← ← ←

武士 勇者 黒魔導師 白魔導師 心療官 演奏者

という感じになっている。そしてほかにも職があり、

忍者 踊り子 暗殺者 ギャンブラー 魔物使い

などがあつて、それぞれの場所に入る職の巻物でこれになることができる。

バーチャルとリアルの間だからバーリアルなんて
どうかかな

(6月29日(日))

昨日は大変だったよ。ワタクシのギルドメンバー何人いると思っ
てるの。

240人ぐらいだよ240人ぐらい!

戦闘部隊30人でいいのに・・・8倍かよ!!

どれだけ皆血に飢えてるのさ・・・もう現実になった世界で死んだ
らどうなるのかなんてわからないくせに。

結局じゃんけん勝負だったさ・・・。

それで、それぞれの部隊の人数を書き記しておく。忘れた時のため
に。

全部四捨五入してる。

戦闘部隊・・・40(根負けした)

研究部隊・・・60

情報収集部隊・・・50

遠征部隊・・・50

遠征兼研究部隊・・・40

ちなみにワタクシ戦闘部隊な。まおまおは遠征兼研究部隊。

みおみおは研究部隊。まおまおと一緒にのところに行けばいいのに
ねえ。

うー30人で手一杯なのに40人ぐらいをまとめないといけない
のか・・・。

ワタクシの昔のクラス何人だと思ってるんだよ。28だぞ28。

都会かよ! って思ったけどもつと多いわ都会!!

・・・愚痴こぼしてもなんにもならないし行動あるのみだわ!

善は急げって言うもんね!!

ばつちこーい! なんでもかかってこいや!

雄たけびを上げる如月ショウでした。

追記：背景だった居酒屋の軟骨おいしかった。
体全体が痛い。つまり全身が痛い。

結局それぞれの部隊が全部じゃんけん大会で決まったよ。

私運ないから結局最後の遠征兼研究部隊だよ。でも真桜02さんも一緒だしいつか。

「えー。オマエラぐつもくにんぐ！（濁声）」

「朝っぱらからものまねぶちかますなんてテンション高いですね」

あーあのゲームのあれね。

「ほんじゃ、今回はとりあえず情報を待つから・・・」

「戦闘部隊と遠征部隊は近場のフィールドでの練習戦闘。遠征兼研究部隊も一緒に行ってください。そして研究部隊は城下街の散策。情報収集部隊はNPCの皆さん相手の情報収集をお願いします」

「・・・あー城下街行くんだっいたらついでに昼飯になるやつ買つといて。ギルドメンバー全員分」

「了解でございます!!!」

ふーん。私は戦闘訓練かあ。まあ遠征も担ってるし強くてナンボ！だもんね。

だるいなあ。情報収集部隊が羨ましいよ。おしゃべりするだけなんてね。

「じゃあワタクシと一緒に練習戦闘するメンバー。行こうぜ！」

如月さんにいいところ見せよう。

「美桜、頑張つてね」

「はい。頑張ることないけど頑張りまーす」

向こうにいるのは真桜さんと・・・美桜さんか。久々に見た。

美桜さん・・・美桜02。

真桜02は何を隠そう彼女の姉である（隠し切れない）。

そして姉にも負けず劣らずの実力を持っている。

美桜02。レベル100。職業、演奏者。

豎琴の演奏者。広範囲の回復が得意でその範囲は豎琴が奏でる旋律が聞こえる距離まで。つまり広範囲だが、壁に隔てられていたりすると反響で届かないということもある。

真桜02と一緒にまおみお姉妹と呼ばれている。そう呼ばれるのは本当の姉妹なのもあるが、彼女たちの連携が素晴らしいからである。

光属性の魔法が得意。装備も光の上昇効果と回復量の上昇効果が付与されている。ちなみにメイド服ではない。

性格はきつちりしている姉と違ってだらあくつとしている。が、彼女の方が親しみやすいだろう。